

20190317 U14TMvs 福生

30分3本

ヴェルディ相模原 v s 福生 [結果] 5-4 勝

- ① 2 - 0 【中1：佐藤2】
- ② 2 - 1 【立岡1・千葉1】
- ③ 1 - 3 【木山1】

【試合コメント】

■1本目は、前日の公式戦により疲れから立ち上がりの動きが良くない。ボールを回されどこでボール奪うのかチームコンセプトが見えず相手の攻撃を自由にさせていた。…ベンチは相手にボールを廻されていても危険なゾーンに多くボールが入ってこないのので特に指摘せずに観察。

特に立ち上がりのコンセプトの徹底を割き「子供たち自身でどう対処するか？」といったスタンスで開始。想定していたように全体守備コンセプトが見えない状況であったが失敗をさせること！

「チームとしてどこでボール奪うの？」・・・声かけをしたところ全体の意識も少し変わった。それでも周りが個人の力で崩して1年生の佐藤君が2ゴールを奪ったことはチームに大きな流れを作り1年生ながら佐藤君のポジショニングとゴール前でのゴールの嗅覚での2ゴールは素晴らしかった。またC B府川、磯が守備時はしっかり声をかけ前線に指示を与え動かしていたことは大きな成長。攻撃時も後方からボールを動かし、さほど大きなパスミスもなかったことで攻撃に良いリズムを作れていたことはチームとしての成長が見られた。

■2本目は立岡、千葉のゴールで4対1勝。

2本目までが勝負結果として重視していたことから3本目は全員が出場できるよう登坂とロミオ、森本を疲労を考慮休ませ、1年生5人全員を投入した。

登坂はトータル的にスピードを生かしたドリブル突破のプレーが良かった。

ただし左サイドから切れ込んでペナ中で味方への横パスをカットされ相手にカウントを許したプレーは今後なくすべきだろう。サッカーにおいて絶対に横パスミスをしてはならないという鉄則であるとする。

登坂の課題はペナルティに入ってからシュート＝ゴールで終わることができる選手になったらパスの選択肢を増やせば良い。ゴールに向かってシュート打ちに行こうとする場面で2つ3つの選択肢イメージを持ってゴールに向かう中でシュートが打てないと判断したときに相手を引きつけていれば自分を囮にして味方は完全にフリーになっているはず。フリーになった味方のところへ味方がワンタッチでシュートを決められるのであれば最高だ。

自分自身で強引に行っているつもりなのかも？…

一時期は余計のことを考えずに、もっともっと強引な気持ちを出してプレイの結果を出すことが今後の課題。

特に1本目は守備・攻撃のときディフェンスラインがボールを持った時に寛太・佐藤との距離が遠いので正確なくさびやロングスルーパスを受けることができずにFWが孤立していた。

距離を縮めるように指導した結果ボールを受ける回数も増えカウンター攻撃の起点になっていた。

体幹のブレも以前より良くなってきたので細かいサイドステップワークトレーニングをすることでさらに動きにキレが出てくるだろう。もちろんトレーニング方法などはフィジカルトレーニング専門原田コーチや龍コーチにトレーニングメニューをもらえばよいでしょう。

特に横移動の動きが課題です。少しでも早く来た練習時間を利用して10分でも実施すると良いでしょう。そうすることでシュート時の立ち足の強化にもつながりしっかり強烈な低い弾道のシュートが打てるようになるでしょう。

3点目の左コーナーキックからヘディングを決めた立岡君のプレーは素晴らしかった。アシストしたキッカーも素晴らしいキックであった。コーナーキックの入り方のタイミングなど意識付けした。

そういったセットプレーの積み重ねでチームはレベルアップする。

今日の試合を見た限りかなり良いチーム状態になってきていると評価。

チームとして全員で守って個人の個性を生かしてゴールを奪うことができるようになっていた。

ただ立岡君がファールを受け笛が鳴らなかったが、その瞬間に他の選手がもっとファールのアピールするなど仲間を思いやる気持ちをもっと出てくればこのチームは強くなると試合後に指摘した。

特に3本目は攻撃のテーマを与えゲームの中で失敗を恐れず試すよう課題を与えた。

また、全員へもっともっと自由に遊ぶようにと声をかけた結果千葉くんのボールを相手の誰も奪えずそのテクニックは素晴らかった。あれだけ相手が逆を突かれた相手の頭はヒートアップ…1対1が強いと言うが、1対1がうまい選手を育てる環境が重要。自由な発想をそのままプレーができるグラウンド環境作った千葉君が育った少年チームの指導者たちは素晴らしいと思った。

そういった千葉君の個性をもっと伸ばすことが我々の責務であると再認識させられた。

これから体を大きくなるでしょう。そうなったら球際も負けない=ボールを奪われなくなるだろう。

もう誰もボール奪うことができなくなる。一気に光明を浴びる選手へと成長するだろう。

課題は小さい体ながらアグレッシブにボール奪いに行くプレー意識をさらに上げれば良いでしょう。

右SBK齊藤君の判断力・精神力・テクニックなどすべてにおいて上手いプレーをしていた。

自分の前のサイドMFをどのタイミングで中に入れてオーバーラップをするかなど声の指示が出てきたら攻撃で大きな活躍をしてくれると期待する。

試合の流れを考えてしっかり自分の意見を言える優秀な選手である。

同サイドMFにパスしてからどうやってオーバーラップして攻撃参加するなどの頭の戦術を設けているので今後は自分の前の選手をどう動かした自分が攻撃参加してゴールを決められるプレーを期待している。

本当に頭の良い選手です。

3本目は1年生全員を起用。木山君が左サイドハーフからゴール前に現れゴールを決めた5点目のシュートゴール奪ったシーンでの正確な左足シュートは下手なJプロ選手以上にうまかった。

判断の良さやボールテクニックは抜群である。課題は上のカテゴリーの中で遠慮なくアグレッシブに声を出してプレーするようになれば飛躍的に大きく成長する。ゲーム中に全部俺にボールを出せなどの要求をするようになれば日本のトップレベルの選手になるだろう。

今日は1年生、左サイドバックのダイ君は責任感、犠牲心が強い忠実な性格の持ち主。

どのポジションにおいても忠実で正確なプレーを表現する選手の1人である。

課題はノールックパス。

常に相手をだます遊び心が出てくれば特に良い。

サッカー選手として素晴らしい資質を持っていることはジュニア5年生時に観ている。

課題として、もったいないことは上の学年に入った時にチームの駒ではなく中心人物として失敗を恐れず遠慮なく攻撃的にプレーすることだろう。

今日は3本フル出場だったので左サイドドリブルカウンター時に重要なところでタッチが大きくなり身体を入れられ奪われたシーンなどいったん止まって考えればボールロスはなくまた押し上げを待って皆で攻撃ができたと思いますが、かなりハードな状態でしたがよく頑張りました。

1年生の10番ユウダイくんの上手いプレーは龍コーチから報告をもらっていました。

その通り2本目以降から出場しましたが上のカテゴリーにおいても強い気持ちを出し球際で負けず身体を張ってプレーをしていました。

勇気や判断力、ボールテクニック、ワンツールの意識があり相手の逆を突くいやらしさはユウダイくんの持ち味。ワンツールしようとして相手に読まれてカットされた場面があったと思いますがああいった場面で相手を読んでいるともっと五感を生かし感じられるようになれば良いと思います。

こうすると見せかけて違うことを選択すると、やめられる変えられる選手に成ればさらにユウダイくんのボール奪うこと不可能となるでしょう。

1年生のサク君の良さはゴールに向かってドリブル突破を図りゴールを決めるスタイルの選手。

ドリブルで逆を突くうまさなどは素晴らしい特徴。

ジュニア年代にゴールに向かって突破してゴールを決めるといったそんなプレーが見たい。

今日右サイドで相手1年生と1対1の時に右ペナルティエリアへドリブル突破で入ってゆく場面がありました。ところがその場面で相手に背中を向けてしまいタッチラインに追い込まれたシーンがありましたがあの場面は相手に負けたのではないかと思います。

あの場面はサッカー選手として勝負をしてゴールを狙う絶好のチャンスでした。常に相手に背を向けずこちらから突っかけて勝負を挑む勇気と自信が重要です。私もFWをしていましたが1vs1時に相手に背を向けたら負けです。

私生活、学校生活などを含め精神的に苦しくなっているのかなと心配。

性格が真面目なのは良いことですが自由な遊び心を忘れていないのですか？…

上のカテゴリーで経験する機会を得ているのですから、もっともっとわがままに自分の良さをチャレンジすべきでしょう。サッカーにはこれが正しいということはありませんので育成年代で多く失敗することは良いことです。大切なことは、「次はこうやってばれないようにしようという反省チャレンジの繰り返し」が重要なのです。皆さんはプロサッカー選手ではないのですから今、多くのミスをして来季の契約に関わることはないのです。もっともっと失敗を楽しみながら反省と自主練習を繰り返せば良いことなのです。

自由な発想で考えプレーしてください！

代表 土持功